TOSHIBA 東芝ＨＩＤ道路灯取扱説明書

保管用

このたびは東芝ＨＩＤ道路灯をお買いあげいただきましてまことにありがとうございました。
お求めの器具を正しく使っていただくために、この取扱説明書をよくお読みください。　◎素人工事は法律で禁じられております。
この取扱説明書は同種類の器具と共通になっておりますので、お求めの器具と姿図が違っている場合があります。
適合ランプについて･･･器具としては下表記載のランプのみが適合します。

対象機種	適合ポール	適合ランプ		仕　様
HW－２２１０５ HW－２２１１５	長円ポール用	東芝ＨＬネオルックス 東芝ツインネオルックス・Ｌ 東芝水銀ランプ 東芝ＨＬネオハライドランプ	NHT110～220･L(S)　×1（E39） NHT110～220TW･L-N　×1（E39） HF200～250X(H200～250)　×1（E39） M(F)250･L-J/BH×1（E39）	屋外専用 防雨形 （ＩＰ２３）
HW－２２３０５ HW－２２３１５	直線ポール用			
HW－３６１０５ HW－３６１１５	長円ポール用	東芝ＨＬネオルックス 東芝ツインネオルックス・Ｌ 東芝水銀ランプ 東芝ＨＬネオハライドランプ	NHT270～360･L(S)　×1（E39） NHT270～360TW･L-N　×1（E39） HF300～400X(H300～400)　×1（E39） M(F)300～400･L-J/BH×1（E39）	
HW－３６３０５ HW－３６３１５	直線ポール用			

■安全上のご注意　商品および取扱説明書には、お使いになる方や他人への危害と財産の損傷を未然に防ぎ、商品を安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。

■工事店様へ　工事が終了しましたら、この説明書は必ずお客様へお渡しください。

施工上のご注意

⚠警告　この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

●器具の取り付けは、本体表示並びに取扱説明書に従って行ってください。取り付けに不備があると器具落下、感電、火災の原因となります。
●電源線接続の際は、取扱説明書に従って行ってください。接続が不完全な場合は、接続不良による発熱、火災の原因となります。
●器具取り付けボルト、落下防止用ボルト・ナットの締め付けは確実に行なってください。（締め付けトルク 14.7～24.5N･m 150～250 kgf･cm）

取り付け

●アース工事は電気設備の技術基準に従い確実に行ってください。アースが不完全な場合は、感電の原因となります。
（Ｄ種（第三種）接地工事）

アース工事

●器具を改造したり、部品を変更して使用しないでください。器具落下、感電、火災等の原因となります。

改造

●この器具は、腐食性ガス雰囲気場所には使用しないでください。そのまま使用しますと変質、変色、絶縁不良、器具落下の原因となります。
●この器具は、振動の激しい場所には使用しないでください。そのまま施工されますと器具落下の原因となります。
●この器具は、防雨形です。防湿形ではありませんので、湿気の多い場所には使用しないでください。湿気の浸入による絶縁不良、感電の原因となります。

使用環境

●ランプより発生するパルスが流れる可能性があります。配線ケーブルの選定に注意してください。

⚠注意　この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害の発生が想定される内容を示します。

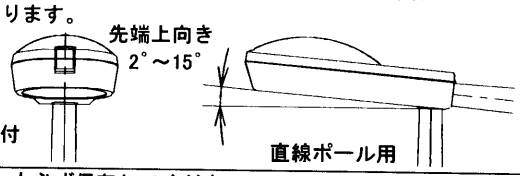
●器具（安定器、ランプ）の定格電圧（定格±６%）；使用地域の周波数は、器具の取り付けの際に必ずご確認ください。間違って使用しますと、安定器、ランプ等の短寿命、火災の原因となります。
●周囲温度は、５℃～３５℃以外では使用しないでください。点灯不良、火災の原因となります。
●風速６０ｍ／秒を越える場所では使用しないでください。落下の原因となります。
●器具に１ｍ以上の雪が積もる恐れのある場所では使用しないでください。そのまま使用されますと破損、落下の原因となります。
（使用する場合は必ず除雪を行ってください。）

使用環境

●器具の取り付けには方向性があります。
取扱説明書に従って行ってください。
下図の通り左右方向は水平、器具先端は２°～１５°上向きになるよう取り付けてください。
指定以外の取り付けを行うと水、水気の浸入による絶縁不良、感電の原因となります。

取り付け

●器具の取り付けは専用のポールに取り付けてください。
専用ポール以外の取り付けは水、水気の浸入による絶縁不良、感電の原因となります。



●お客様はお読みになったあとも必ず保存してください。

■お客様へ

使用上のご注意

⚠警告　この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

●ランプ交換やお手入れの際は、取扱説明書に従って行ってください。落下、感電、火災の原因となります。
●ランプ交換やお手入れの際は、必ず電源を切ってください。電源を入れたままランプ交換を行うと、ランプ始動のためソケットには、２ｋ～６ｋの高電圧パルスが発生しており、この高電圧パルスの電撃により落下事故、感電の原因となります。
●ランプ交換の際は、必ず本体表示並びに取扱説明書通りの適合ランプをご使用ください。適合ランプ以外は使用できません。
●ランプ交換などによりランプを外し再度取り付ける場合には、取扱説明書に従ってください。取付に不備がありますと水、水気の浸入により絶縁不良、感電の原因となります。

ランプ交換

⚠注意　この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害の発生が想定される内容を示します。

●点灯中及び消灯直後はランプ及び器具が高温となっておりますので、手を触れないでください。やけどの原因となります。

ランプ高温

●この器具の平均的な寿命の目安は、使用条件、使用場所、環境により異なりますが約１０年です。（定期的に工事店等の専門家による点検を実施してください。）

寿命

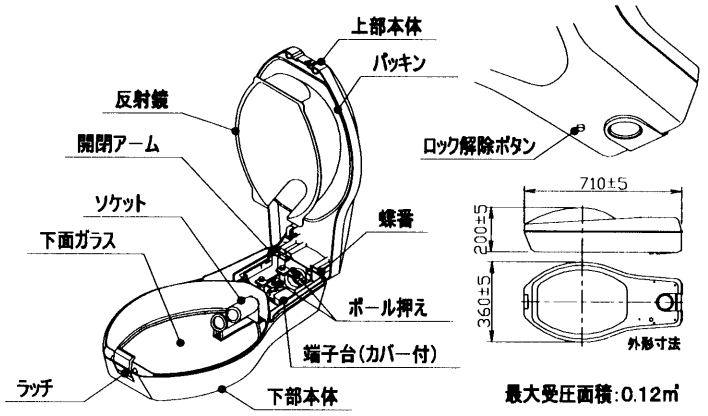
●ランプを掃除する際は器具から外して乾いた布で拭いてください。
●器具を掃除する際は器具内面の汚れは、やわらかい布を中性洗剤に浸し、よく絞ってから拭き取ってください。器具内のソケットや端子盤などの電気部品に水滴がつかないよう十分注意してください。
●金属部分をクレンザーやたわしで磨かないでください。傷付けたり、腐食の原因となります。
●器具を洗剤・薬品などで拭いたり殺虫剤をかけないでください。器具の破損、落下、感電等の原因となります。

保守

このたびは東芝ＨＩＤ道路灯をお買い上げいただきましてまことにありがとうございました。おもとめの器具を正しく使っていただくために、この取扱説明書をよくお読みください。

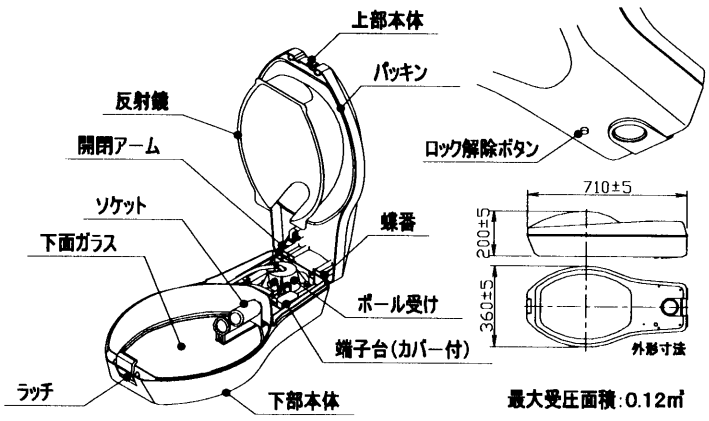
■各部のなまえ

HW－２２１０５　HW－２２１１５
HW－３６１０５　HW－３６１１５



最大受圧面積:0.12㎡

HW－２２３０５　HW－２２３１５
HW－３６３０５　HW－３６３１５



最大受圧面積:0.12㎡

■落下防止について

1　長円ポールの落下防止をする場合は次の内いずれかの方法で行ってください。

●長円ポールにワイヤー（別売り）で落下防止する場合。

1．長円ポールに図１の加工がされている場合はワイヤー（別売り）での落下防止が可能です。

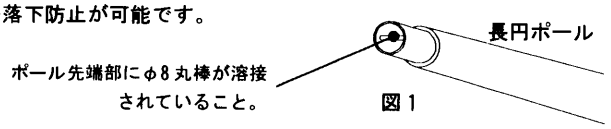


図１

2．長円ポール先端の丸棒にワイヤー（別売り）を図２の様に組付けてください。

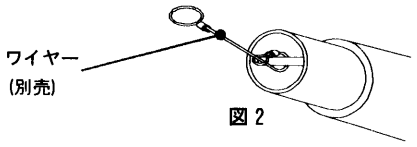


図２

3．長円ポールに灯具を組付けて下さい。
（次ページの器具取付方法を参照）

4．ワイヤーの反対側リング部分をワイヤー取付ボルト（図３の箇所）にて取付けてください。

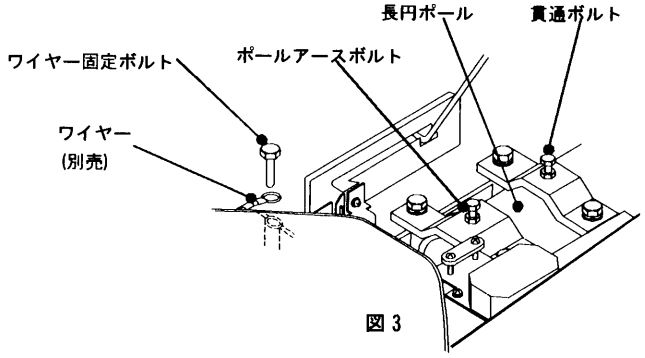


図３

●長円ポールに追加工のみで落下防止する場合。

1．長円ポールに図４又は図５の加工をしてください。

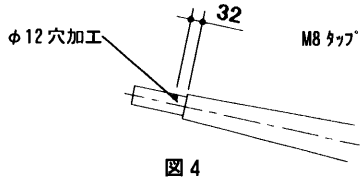


図４

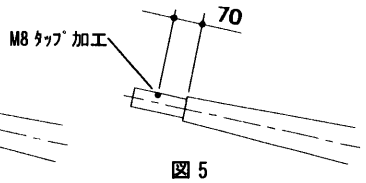


図５

2．長円ポールに灯具を組付けて下さい。
（次ページの器具取付方法を参照）

3．図４の場合は図６のポール押えにあるＭ８ボルトを締め付けてください。

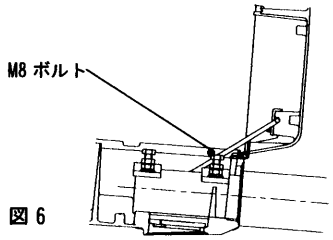


図６

4．図５の場合は図７の通りに市販のＭ８ボルトを組付けてください。

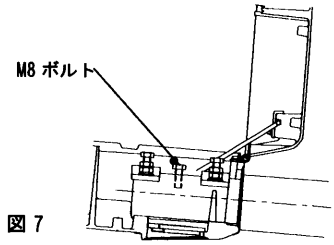


図７

※プレアロード（形名：HW-22101(N)，HW-36101(N)　）からのリニューアルの際は貫通ボルトとポールアースボルトを交換してご使用ください。

2　直線ポールの落下防止をする場合は次のうちいずれかの方法で行ってください。

●直線ポールにワイヤー（別売り）で落下防止する場合

1．直線ポールに図１の加工がされている場合はワイヤー（別売り）での落下防止が可能です。
2．直線ポール先端の丸棒にワイヤー（別売り）を図２の様に組付けてください。
3．直線ポールに灯具を組付けてください。
（右ページの器具取付方法を参照）
4．ワイヤーの反対側リング部分をワイヤー取付ボルト（図３の箇所）にて取り付けてください。

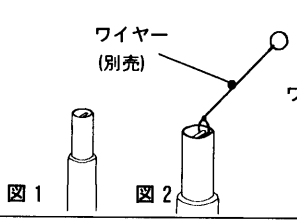


図１　図２

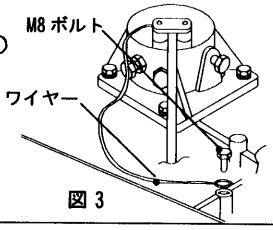


図３

●直線ポールに追加工のみで落下防止する場合

1．直線ポールに図４の加工をしてください。
2．直線ポールに灯具を組付けてください。
（右ページの器具取付方法を参照）
3．図５のポール受けにあるＭ８ボルトを締め付けてください。

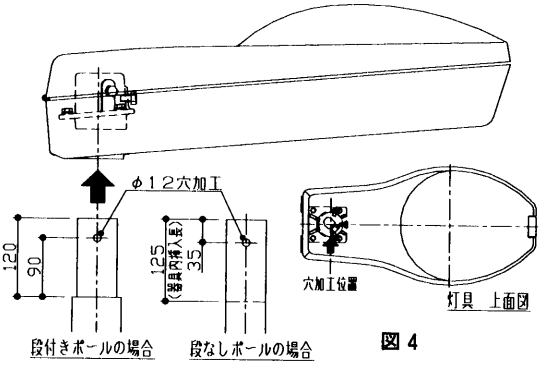


図４

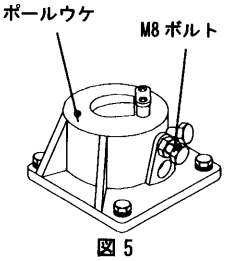


図５

■器具の取付方法

1　取り付けるポールの種類等により次の様に取り付けてください。

●長円ポールに取り付ける場合

1．製品が長円ポール用灯具であることを確認してください。(図１)

2．灯具を長円ポールに取り付けてください。(図２)

○ポール先端部寸法は右図（図１）の通りです。

○ポールに灯具を組付ける際、灯具の塗装を傷つけないように注意してください。

取り付け

3．灯具のラッチを外して、ロック解除ボタンを押しながら上部本体を開けてください。(図３)

○上部本体を開けて作業する際は開閉ストッパーを確実に取付けてから次の作業を行ってください。
開閉ストッパーを取付けずに作業を行いますと他の原因で上部本体が倒れてけがの原因となります。

○開閉ストッパーの使用方法は裏面を参照してください。

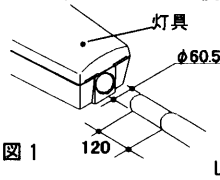


図１

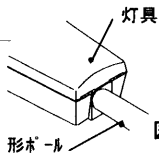


図２

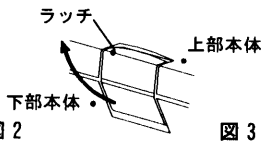


図３

4．ポール押えを組付けているＭ８ボルト（４ヶ所）を締め付けてください。(図４)

○ボルト締め付けは平均に締まるように注意してください。
片締めになりますと灯具傾きの原因となります。

5．端子台の結線用ビスに電源電線（現場手配）をしっかり固定してください。(図５)

○電源電線は仕上り外径φ１０．５～１２．５の電線を使用してください。

○電源電線は安定器二次側の口出し線を延長したコードです。

○配線加工時電源電線に無理な張力が掛からないようにしてください。

○配線加工後電源電線をコード押えでしっかり固定してください。

6．指定のランプを取付けてください。
（全頁適合ランプ及び使用安定器を確認の上作業してください。）
また取付けの際はランプがソケットに対して傾かないようにして完全にねじ込んでください。

7．開閉ストッパーを解除して指定の場所に固定して上部本体を閉じてください。

8．ラッチを「カチッ」と音がするまでセットしてください。

○ラッチが確実にセットされていることを確認してください。不完全ですと浸水の原因となり感電事故の原因となります。

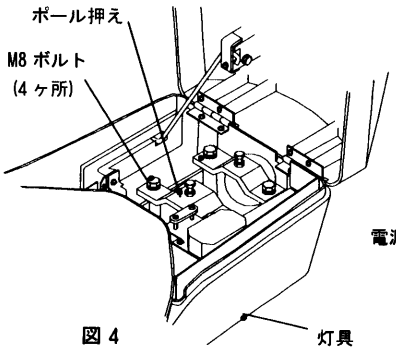


図４

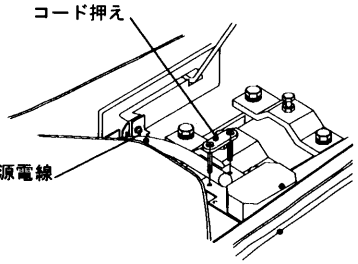


図５

●直線ポールに取付ける場合

1．製品が直線ポール用灯具であることを確認してください。(図６)

2．灯具を直線ポールに取り付けてください。(図７)

○ポール先端部寸法は右図（図６）の通りです。

○ポールに灯具を組付ける際、灯具の塗装を傷つけない様に注意してください。

3．灯具のラッチを外して、ロック解除ボタンを押しながら上部本体を開けてください。(図３)

○上部本体を開けて作業する際は開閉ストッパーを確実に取り付けてから次の作業を行ってください。
開閉ストッパーを取付けずに作業を行いますと他の原因で上部本体が倒れてけがの原因となります。

○開閉ストッパーの使用方法は裏面を参照してください。

ポールは勢い良く挿入しないでください。器具の破損・落下の原因となります。

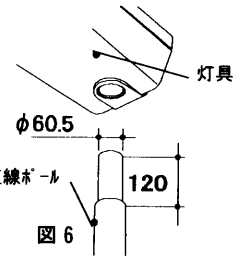


図６

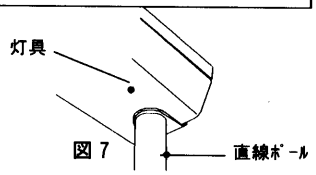


図７

4．ポール受けに組付けてあるＭ１０ボルト（３ヶ所）を締め付けてください。(図８)

○ボルト締め付けは平均に締まるように注意してください。
片締めになりますと灯具傾きの原因となります。

5．端子台の結線用ビスに電源電線（現場手配）をしっかり固定してください。(図９)

○電源電線は仕上り外径φ１０．５～１２．５の電線を使用してください。

○電源電線は安定器二次側の口出し線を延長したコードです。

○配線加工時電源電線に無理な張力が掛からないようにしてください。

○配線加工後電源電線をコード押えでしっかり固定してください。

6．指定のランプを取付けてください。
（全頁適合ランプ及び使用安定器を確認の上作業してください。）
また取付けの際はランプがソケットに対して傾かないようにして完全にねじ込んでください。

7．開閉ストッパーを解除して指定の場所に固定して上部本体を閉じてください。

8．ラッチを「カチッ」と音がするまでセットしてください。

○ラッチが確実にセットされていることを確認してください。
不完全ですと浸水の原因となり感電事故の原因となります。

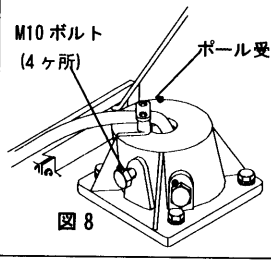


図８

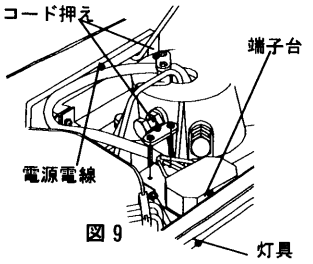


図９

■ソケットの調整・配光の変更方法

器具の設置環境・使用するランプに応じてソケット台を調整してください。

※工場出荷時の状態はＮＨＴランプ用・標準位置です。

１．ＮＨＴランプ使用時（図１，２参照）

前方位置･･･より手前側を明るくしたいとき。

後方位置･･･路肩が広いなどで遠くへ光を飛ばしたいとき。

２．ＢＴバルブ外管のランプ使用時（図３参照）

ソケット台を図の通りに裏方向として前方位置に固定してください。

※固定ネジは確実に取り付けしてください。不完全ですとランプの破損・感電事故の原因となります。

※東芝ﾂｲﾝﾈｵﾙｯｸｽLﾗﾝﾌﾟ(NHT110～360TW･L-N)をご使用の際は上記調整の他に、回転方向の調整で最適化できます。裏面の「NHT110～360TW･L-Nランプ使用時の発光位置の調整」をご参照ください。

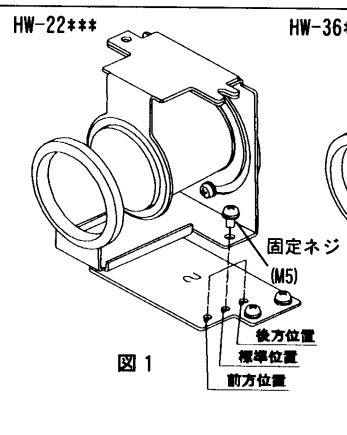


図１

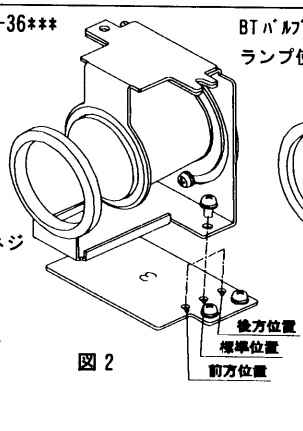


図２

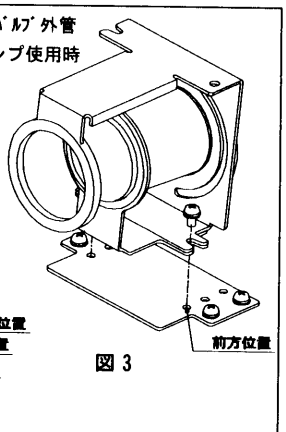


図３

■ランプ交換

ランプ交換の際は下記の手順にて作業してください。

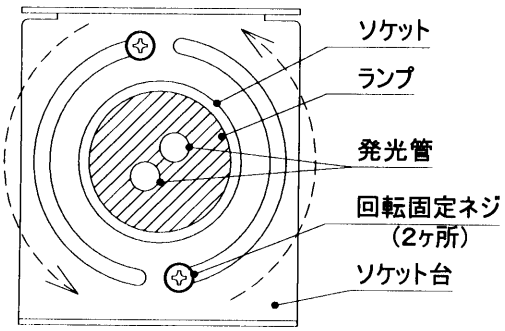
1　ランプ交換の際は、必ず電源スイッチを切ってください。
　消灯直後は器具やランプが高温となっていますので、しばらく（20分～30分程度）時間をおいてから作業を行ってください。
2　ラッチを外して上部本体を開けてください。
　（灯体を開けた際必ず開閉ストッパーを確実に取付けてから次の作業を行ってください。）
3　ランプを交換してください。
　（交換用ランプが使用しているランプと同じであることを確認の上作業してください。）
　取付けの際はランプがソケットに対して傾かないようにして完全にねじ込んでください。
4　作業が終了しましたら、上部本体を少し持ち上げるようにして、開閉ストッパーを外し、開閉ストッパーを収納状態にもどしてから、上部本体をしずかに閉じてください。
5　ラッチを掛けてください。

取り付け

■NHT110～360TW･L-N 使用時の発光位置の調整

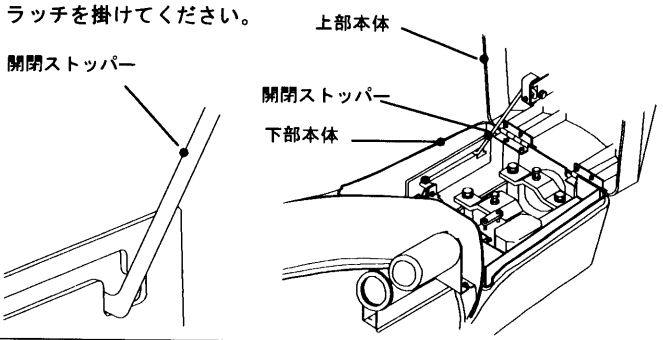
東芝ツインネオルックス L ランプ (NHT110～360TW･L-N) をご使用の場合は、ランプ取り付け後に発光管位置を最適化できます。次の手順にて作業してください。

1　ランプ取り付け後、ソケット台の回転固定ネジをゆるめてソケットを回転させ、発光管を斜め 45° 方向に配置する。（下図参照）
2　回転固定ネジを固定する。※ネジは確実に固定してください。



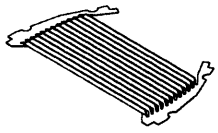
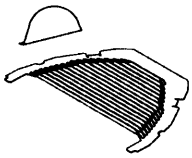
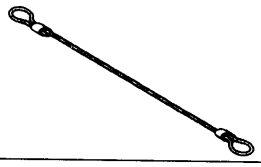
■開閉ストッパー使用方法

ランプ交換や掃除等で上部本体を開けて作業を行う時は、下図のように開閉ストッパーを固定してから作業を行ってください。
また、作業中には開閉ストッパーには触れないように注意してください。
作業が終了しましたら、上部本体を少し持ち上げるようにして、開閉ストッパーを外し、開閉ストッパーを収納状態にもどしてから、上部本体をしずかに閉じてください。
ラッチを掛けてください。



■オプション部品

※羽ルーバー・板ルーバーは HW-22115, HW-22315, HW-36115, HW-36315 には適合しません。

CL-101F ※	CL-101B ※	CL-202F ※	CL-202B ※	WIRE-101
前方カット羽ルーバー	後方カット羽ルーバー	前方カット板ルーバー	後方カット板ルーバー	落下防止ワイヤー
				

■保守・点検のために

（施工記録）ランプ交換など保守のために、下表内容を確認の上、適切な保守用品をお求めください。

器具品番		保守作業上の注記
取付年月日		
使用ランプ品番		
使用安定器品番		

保証の免責事項

1．保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
(1) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
(2) お買い上げ後の取り付け場所移設、輸送、落下などによる故障及び損傷
(3) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、異常電圧、指定外の使用電源(電圧、周波数)などによる故障及び損傷
(4) 車両、船舶等に搭載された場合に生じる故障及び損傷
(5) 施工上の不備に起因する故障や不具合
(6) 法令、取扱説明書で要求される保守点検を行わないことによる故障及び損傷
(7) 日本国内以外での使用による故障及び損傷
2．離島および離島に準ずる遠隔地への出張修理を行った場合には出張に要する実費を申し受けます。

修理を依頼されるとき

・保証期間中は、お買い上げ日を特定できるものを添えてお買い上げの販売店（工事店）までお申し出ください。
・保証期間を過ぎている時はお買い上げの販売店（工事店）にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。
・アフターサービスについてご不明な点並びに修理に関するご相談は、お買い上げの販売店（工事店）または東芝家電修理ご相談センターにお問い合わせください。その際は器具の形名、お買い上げ時期をお忘れなくお知らせください。

保証について

・保証期間は、商品お買い上げ日より１年間です。
・ランプなどの消耗品などは対象外です。
・24時間連続使用など、１日20時間以上の長時間使用の場合は、上記の半分の期間とします。

・ご転居されたり、ご贈答品などで(販売店)工事店に修理のご相談ができない場合
『東芝家電修理ご相談センター』　0120―1048―41
・新製品などの商品選び、お取扱い・お手入れ方法などのご相談
『東芝家電ご相談センター』　0120―1048―86
携帯電話・PHSからのご利用は　03―3426―1048 (有料)
※フリーダイヤルは、携帯電話・PHSなど一部の電話ではご利用になれません。

365日 24時間 お応えします

・「東芝家電修理ご相談センター」「東芝家電ご相談センター」は東芝テクノネットワーク株式会社が運営しております。
・お客様からご提供いただいた個人情報は、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。
利用目的の範囲以内で、当該製品に関連する東芝グループ会社や協力会社にお客様の個人情報を提供する場合があります。

東芝ライテック株式会社 電材事業部 〒140-8660 東京都品川区南品川 2-2-13 (南品川 JN ビル) TEL (03) 5463-8776 FAX (03) 5463-8824

お客様はお読みになったあとも必ず保存してください。

0031389B